



エコアクション21 環境活動レポート 2010.8～2011.7

もくじ

□ ご挨拶	1
□ 事業活動の概要	
◇ 会社概要	1
◇ 組織図及び環境活動業務実行者	2
◇ 環境管理における活動体制	2
□ 環境方針	3
□ 活動計画	3
□ 活動内容	4
□ 環境目標	5
□ 目標設定	6
□ 今年度の目標、実績・評価	7
□ 個別の実績・評価	8～
□ 活動報告	16～
□ 環境関連法規への違反、訴訟の有無	19
□ 地震、火災等による緊急事対応マニュアル	20
□ 代表者による環境活動の評価と見直し	21

株式会社 柏原鐵工所

作成：平成23年12月



エコアクション21
認証・登録番号 0004784

■ ご挨拶

弊社は、昭和37年の創業以来鉄骨の加工、溶接を主業務とし、信頼されることを目指して半世紀近く鉄骨建築一筋に歩んできました。これもひとえに、今まで頑張ってくれた社員たちと応援していただいた協力会社の皆様に心より感謝しております。

今年3月11日の『東北地方太平洋沖地震』の話になりますが、この大地震で被災なされた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

この地震は『阪神淡路大震災』とは違い、揺れが大きかったのはもちろんですがその後に襲ってきた津波で多くの住宅が根こそぎ流されてしまいました。津波に遭われた地域の木造住宅は基礎を残して何も残っていません。そんな中でも鉄骨を使った建物は結構残っていたように思われます。ということは鉄骨を使った建物は“丈夫で地震に強い”ことが改めて証明されたように思います。

阪神淡路大震災の後に建築基準法が見直されたように、今回の地震でも建築基準法が更に厳しく見直される可能性があります。市場においては、鉄鉱石の不足（年初のオーストラリア、ブラジルの水害）による鋼材の値上がり、それに加え東北大地震により受注物件の延期や中止が相次ぎ、仕事量が減少しました。

こういう厳しい経済状況下では有りますが、それらにも対応できるように技術を磨き精進を重ね、長年の経験を生かし、丈夫で地震に強い鉄骨工事を目指し、かつ、環境に配慮できる会社を目指していこうと思います。

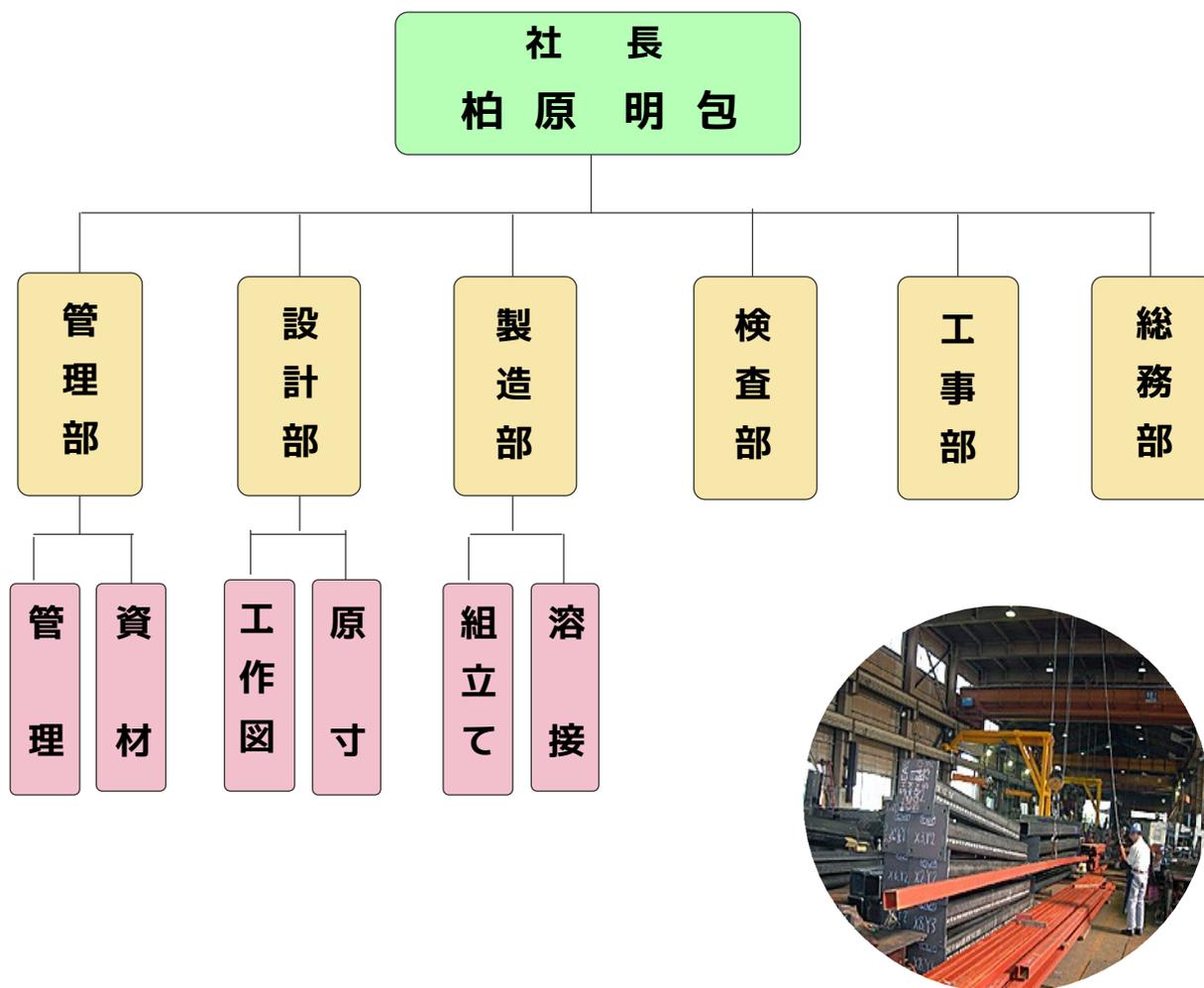
株式会社 柏原鐵工所
代表取締役社長 柏原明包

■ 事業活動の概要

★ 会社概要

事業所名・代表者	株式会社 柏原鐵工所 代表取締役社長 柏原 明包	
住所・連絡先	〒425-0045 静岡県焼津市祢宜島124-2 電話 : 054-624-5803 F A X : 054-623-0046 e-mail : info@e-kashiwa.com webページ : http://www.e-kashiwa.com/	
建設業許可	建設工事業・鋼構造物工事業 静岡県知事許可（般一23）第2124号 工場認定 全構協Hグレード 認定番号 TFB H-07 0919	
事業内容	一般建築鉄骨・鉄骨耐震ブレース・鉄骨階段・鉄骨工事一式	
主要取引先	・白幸産業株式会社 ・木下建設工業株式会社 ・五光建設株式会社 ・第一建設株式会社 ・株式会社田中組 ・東急建設株式会社 ・大井建設株式会社 ・釘ヶ浦建設株式会社 ・近藤建設工業株式会社 ・株式会社竹中工務店 ・戸田建設株式会社 ・山本建設株式会社 (敬称略50音順)	
事業の規模	従業員数 : 27名 資本金 : 800万円 売上高 : 約7億円 延床面積 : 74.8㎡	

★ 組織図及び環境活動業務実行者



★ 環境管理における活動体制

代表者	柏原 明包	・ 環境活動の目標・計画の承認 ・ 環境活動全体の評価と見直し
環境管理責任者	中島 初江	・ 環境活動の計画立案・実施 ・ 環境活動の自己チェックの実施 ・ 環境方針及び活動計画の見直し
実務担当者	中島 重男	・ 管理責任者の補佐 ・ 管理データの収集・比較整理
	山田 真実	・ 『環境活動レポート』の作成

■ 環境方針

株式会社柏原鐵工所は、
建設事業を推進していくに当たり、
地域との関わりを**大切**にし、
環境に負担をかけないように**配慮**した、
ごみ削減及び再利用・再資源化
また、化学物質の低減を**最大限**に実現できるよう、
持続可能な**循環型社会づくり**を目指します。

■ 活動計画

- (1) 事業活動において、省資源化・省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減を目指す。
- (2) 事業活動において、現場で発生する産業廃棄物の排出の削減を目指すとともに、廃棄物の収集・分別を徹底して行い、再資源化できるようにする。
- (3) 塗料に含まれる有害化学物質の低減に努める。
- (4) 備品購入の際、グリーン購入の推奨に努める。
- (5) 5Sを徹底す **新**
- (6) 上記の活動を継続させるため、数値目標を設定して行い、査定・評価し、日々改善に努める。
- (7) 事業活動において、建築基準法及びその他の関係法令を遵守し、環境保全に努める。
- (8) 当社は上記活動を実施するに当たり、本方針を従業員全員に周知徹底します。

平成23年9月1日
㈱柏原鐵工所 代表取締役 柏原 明包

■ 活動内容

弊社では下記とおり環境活動を行っています。

取り組み事項	取り組み内容 詳細	評価
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	 照明器具、その他電化製品の不必要時の消灯・消電	○
	空調設備の温度設定の徹底（夏場26℃以上・冬場22℃以下）	○
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節	○
	照明器具・空調設備等の定期的な清掃	×
	計画的な輸送・運搬の実現	○
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止	○
	自動車内エアコンの設定温度の見直し	○
	自動車の定期点検・整備の励行	○
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	廃棄物を出さないために購入時の再検討	×
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の裏面使用	○
	書類等の電子化推進	○
	 一般及び産業廃棄物の分別の徹底	○
	 3Rの徹底 Reduce(ゴミ削減)・Reuse(再利用)・Recycle(再資源化)	○
	 材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底	○
	材料在庫・機械・機器管理の徹底	×
有害化学物質の削減に関する取り組み	顧客に対して、有害物質の少ない・入っていない塗料の提案をする。	×
水道水削減の取り組み	節水に努める	○
	止水の確認、漏水検査	○
その他の環境活動の取り組み	 5Sの徹底（整理・整頓・清潔・清掃・躰）	×
	エコマーク商品の購入	○
	 防災訓練の実施	○
	地域社会における緑化運動の推進	×

取り組み内容詳細に記載しているマークについて



このマークがついている項目は
今年度特に力を入れて行った項目です。

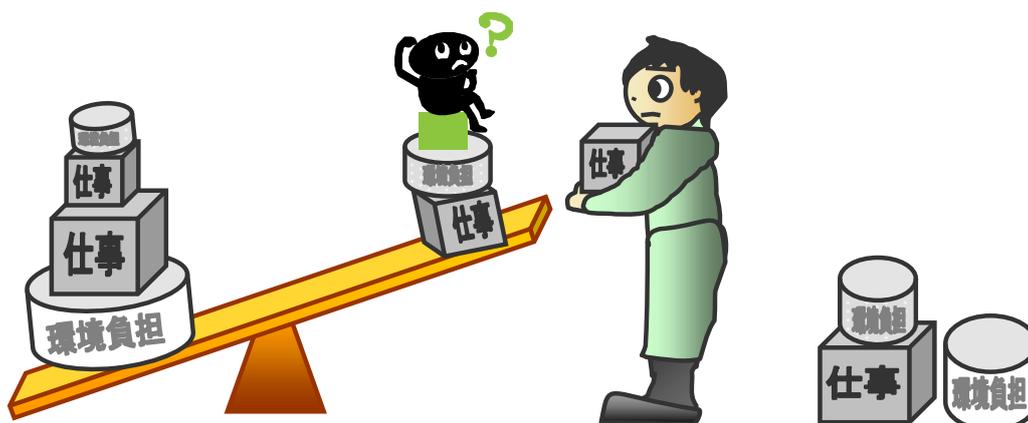


このマークがついている項目は
今年度特に力を入れて行った項目であり、
「活動報告」のページに内容を記載しています。



■環境目標

目標値の見直しと追加



昨年度、弊社では『平成20年各データ』を基準とし、毎年2%削減を目標に活動してきましたが、仕事量によりデータが変動する箇所が多く見られました。このデータの取り方では本当に削減できているのか明確ではありません。仕事量に直接関係ある鉄骨鋼材仕入量の変動を元に比べることも重要だと思いました。

そこで今年度は昨年度までの比較方法に加え、基準年の鉄骨鋼材仕入量と本年度の鉄骨鋼材仕入量の割合を均等にした数値を目標値とします。

例: 基準年=仕入量100トン 本年度=仕入量=80トンだとしたら、20%減少しているので、他の基準データ全てマイナス20%したものと本年度データを比べます。

過去データ 新規目標値との比較（平成21年度）

基準	平成20年度 鉄骨鋼材使用量	鋼材トン数	鋼材使用(%)
			6290
	↓	↓	↓
基準	平成21年度 鉄骨鋼材使用量	4521	71.9%

各種 使用量			H20年データ	新目標値	H21使用量
	電気使用量	kwh	261733	188,134	236,692
	ガソリン	L	653.59	469.80	771.82
	軽油	L	2997.82	2154.83	3812.95
	二酸化炭素排出量	kg-Co2	202,068.604	145,246.912	205,706.467
	コピー紙購入量	t	0.7786	0.5597	1.6565
	産業廃棄物搬出量	t	125.580	90.267	123.03
	水使用量	m ³	898	645	729

↑ 新しい目標基準で比較すると、仕事量に対して各エネルギーの使用量が大幅に増量していた。

■ 目標設定

下記のとおり目標を設定しています。

弊社では、平成21年を環境元年と位置づけ、その前年である平成20年を基準年と定め、環境活動を行っています。今年度(平成22年度)から、鉄骨鋼材仕入量を均等にした数値を目標値とし、その数値が下まわることを目標とします。

		旧 目標値			新 目標値	
		平成19年 (2007)	平成20年 (2008)基準	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)
電力使用量	kwh	236,897	261,733	256,498	251,264	248,646
		-	基準値 100	目標値 98	目標値 96	目標値 95
					★ 127,987.000	仕入量にて変動
化石燃料	ガソリン	17.48	653.59	640.52	627.45	620.91
		-	基準値 100	目標値 98	目標値 96	目標値 95
					★ 319.61	仕入量にて変動
化石燃料	軽油	1,376.58	2,805.89	2,749.77	2,693.65	2,665.60
		-	基準値 100	目標値 98	目標値 96	目標値 95
					★ 1,465.93	仕入量にて変動
二酸化炭素排出量	kg-CO2	212,351.9348	316,920.3951	310,581.9872	304,243.5793	301,074.3753
		-	基準値 100	目標値 98	目標値 96	目標値 95
					★ 98,811.547	仕入量にて変動
コピー紙購入量	t	0.4826	0.7786	0.7630	0.7475	0.7397
		-	基準値 100	目標値 98	目標値 96	目標値 95
					★ 0.381	仕入量にて変動
産業廃棄物搬出量	t	111.73	125.54	2,229.02	2,183.53	2,160.78
		-	基準値 100	目標値 98	目標値 96	目標値 95
					★ 61.409	仕入量にて変動
水使用量	m ³	770	898	880	862	853
		-	基準値 100	目標値 98	目標値 96	目標値 95
					★ 439.000	仕入量にて変動
有害化学物質	t	1.98729	2.83795	2.78120	2.72443	2.69605
		-	基準値 100	目標値 98	目標値 96	目標値 95
					★ 1.38776	仕入量にて変動

こちらが今年度の目標値になります。



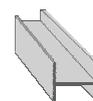
★…目標値：基準年の鉄骨鋼材仕入量と本年度の鉄骨鋼材仕入量の割合を均等にした数値。

この数値を下まわることを目標とします。

■今年度の目標、実績・評価

★今年度の目標

(鉄骨鋼材使用量より) 単位:t



	基準(平成20年度)	平成22年度比較値(目標)
鋼材使用量	6290	3077

パーセント	100%	48.9%
-------	------	-------

今年度の鉄骨鋼材使用量は基準年の平成20年度と比べると51.1%減少していた。
よって平成22年度は、**H20年度の48.9%分が今年度の目標値となる。**

目標
目標値よりも削減する。

今年度は昨年度までと同様の比べ方(基準年データと直接比較する)と
今年度から新たに追加した目標値との両方にてデータを比較していきたいと思う。

★今年度の実績

			基準 (H20年)データ	目標値	H22使用量	評価	
		単位				青矢印	赤矢印
各種 使用 量	電気使用量	kwh	261733	127,987	228,283	○	×
	ガソリン	L	653.59	319.61	666.22	×	×
	軽油	L	2997.82	1,465.93	4461.74	×	×
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	202,068,604	98,811,547	175,977,433	○	×
	コピー紙購入量	t	0.7786	0.3808	1.0091	×	×
	産業廃棄物搬出量	t	125.580	61.409	389.52	×	×
	水使用量	m ³	898	439	662	○	×
	有害化学物質	t	2837.96	1387.76	1561.62	○	×

青矢印は昨年度と同様の基準による比です。
赤矢印は今年度新たに追加した仕事量での基準による比です

昨年度までと同じ基準で比べると (▲) 削減できている項目もあるが
今年度新たに追加した基準(仕事量) (▲) でくまると全ての項目が削減できていない。
次ページの「個別の実績と評価」で原因を明らかにし、省みたいと思う。

■ 個別の実績・評価

● データ表の説明

基準年データ	平成20年度（基準年）のデータ
目標値	上記基準データと本年度データを仕事量で比べるために上記基準データを48.9%分にした数値
H22年データ	本年度 平成22年度のデータ

3つの比較方法

- ◆ 前年度までと同じ比較方法
基準年のデータと本年度のデータを直接比較する方法です。
- ◆ 本年度、新たに加えた目標値による比較
基準年の仕事量と本年度仕事量の割合を同等にし、そのデータにより比較する方法です。
- ◆ 3年間のデータによる比較
過去3年間の年間データによる比較です。

● 本年度から新たに追加した項目 【燃費】

化石燃料使用量に加え、『燃費』によるデータ比較も行うことにしました。

※基準年(平成20年)のデータは収集していなかったため、
燃費につきましては、平成21年度のデータを基準とします。

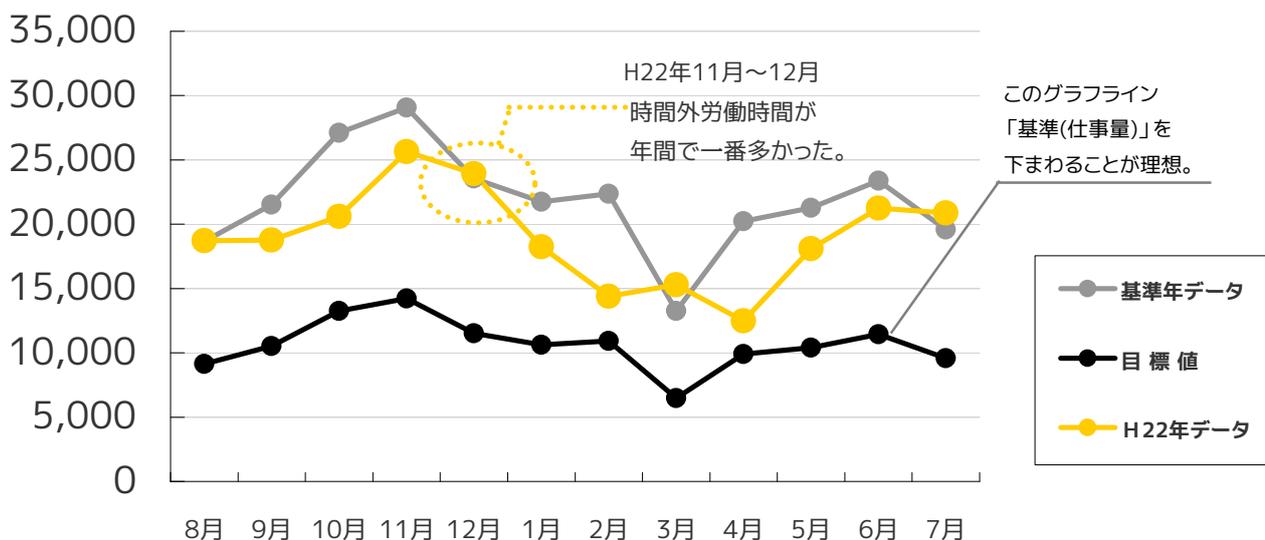
※また、他データでは目標値を下まわることを目標としていますが、
燃費につきましては、上まわることを目標とします。

★ 12ページ参照



購入電力（単位: kw/h）

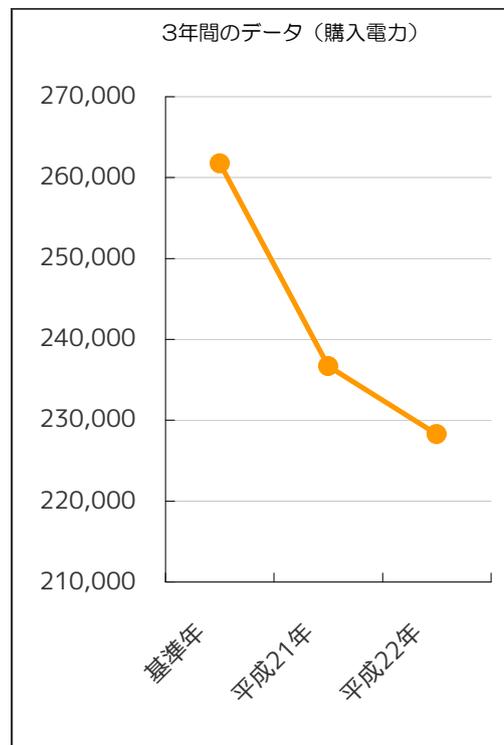
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
基準年データ	18,656	21,516	27,110	29,077	23,554	21,740	22,357	13,251	20,238	21,263	23,378	19,593	261,733
目標値	9,123	10,521	13,257	14,219	11,518	10,631	10,933	6,480	9,896	10,398	11,432	9,581	127,987
H22年データ	18,722	18,757	20,596	25,634	23,937	18,236	14,396	15,297	12,497	18,096	21,244	20,871	228,283



基準年のデータと比べると、削減できていることにはなるが、仕事量をふまえた目標値と比べると増えてしまっている。なぜこのような結果になってしまったのかを推測してみると、『従業員の時間外労働時間の増加』が挙げられた。原因は主に下記の2つが挙げられた。

- ①鋼材仕入量(仕事量)は約50%減少しているが、小型工事物件数が今年度は多く、その各物件ごとの納期が集中してしまい、従業員の時間外労働時間が増えていたこと。
- ②基準年よりも外注依頼分が減少し、弊社生産分が増加してしまっただこと。

データを集計するとグラフのとおり、購入電力量が最も多かった11月・12月は従業員の残業時間が最も多かった。照明・機械器具の使用に注意することも大切だが、仕事の効率等も考え直す必要がある。

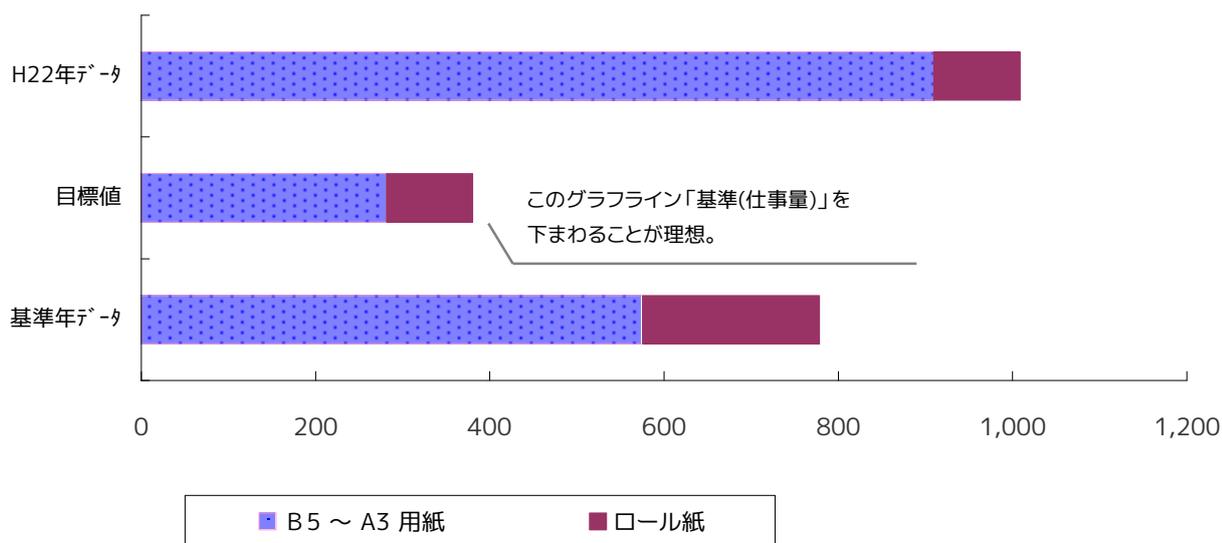


★3年間を通すと購入電力量は減少傾向である

コピー紙使用量（単位: kg）

★コピー紙使用量は年間でデータを収集しています。

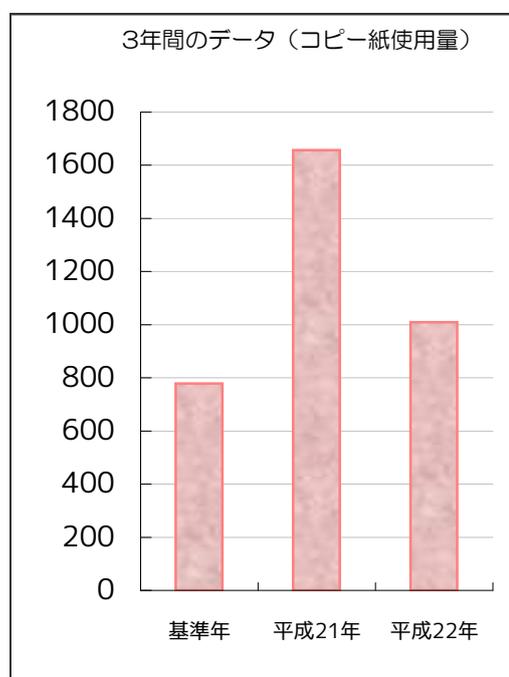
	年 間		合計
	B5～A3用紙	ロール紙（A1サイズ）	
基準年データ	575.4	203.2	778.6
目標値	281.4	99.4	380.8
H22年データ	909.5	99.6	1,009.1



全体的に今年度のコピー紙の使用量は基準年である平成20年より増加している。鋼材仕入量（仕事量）が極端に減少した割に紙の使用量は増加している。この原因も購入電力と同じく、小型工事物件数が増加したことである。各工事毎ほぼ同じ量の書類を作成するので、使用量が増加する原因となってしまった。B5～A3用紙の使用量が今年度のコピー紙全体の増加の原因である。ロール紙の使用に関しては、目標値に近づくことができたが、今後目標値を下まわることができるよう努力していきたいと思う。

社内でのコピー紙の両面使用・両面印刷をもっと徹底的に行う必要がある。

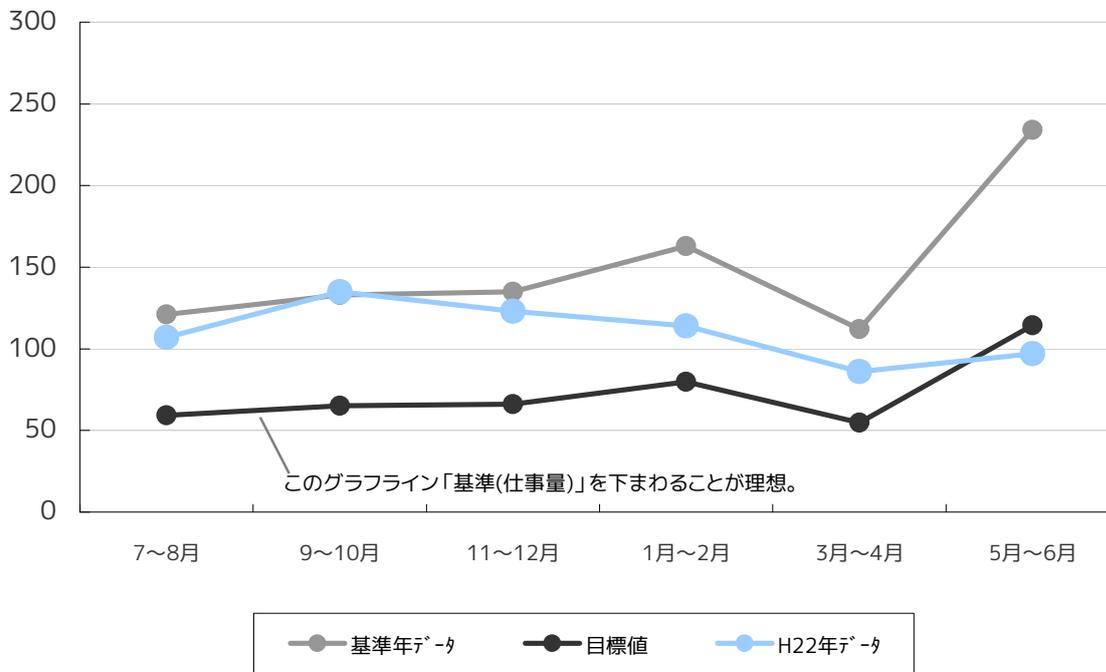
更に、文書の電子化も社内で広め、プリントアウトを必要最低限に抑えることも実施していきたい。



★コピー紙の使い方を見直す必要がある。

上水道使用量（単位: m³）

	7～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3～4月	5～6月	合計
基準年データ	121	133	135	163	112	234	898
目標値	59	65	66	80	55	114	439
H22年データ	107	135	123	114	86	97	662

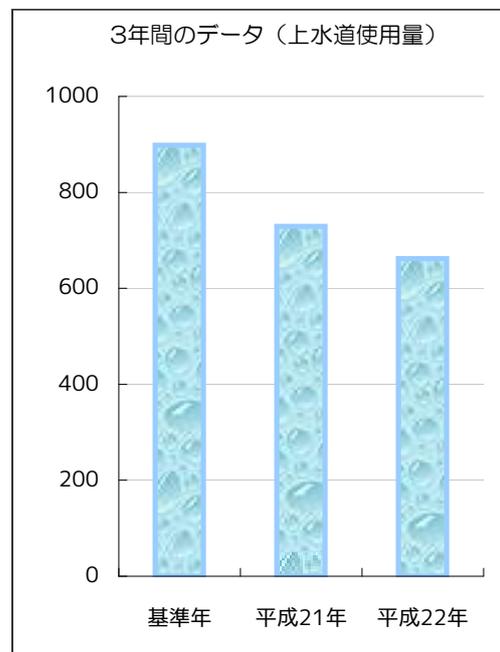


目標値と比べると全体的には削減できていない。しかし5月～6月間のみ、目標を達成できている。

基準年データと比べると、9月～10月を除き全て削減できている。特に、5月～6月のデータでは大幅に削減できている。

「3年間のデータ」の表を見ると使用量は年々減少傾向である。また、上水道使用量は項目の中で仕事量に一番左右されにくい項目であり、削減

この調子で今年度新たに設定した目標値を下まわることができるよう、今後も引き続き節水や止水の確認等の努力を徹底していきたいと思う。



★この調子で目標値を下まわられるよう、努力したい。

化石燃料（使用量単位:L 燃費単位:km/L）

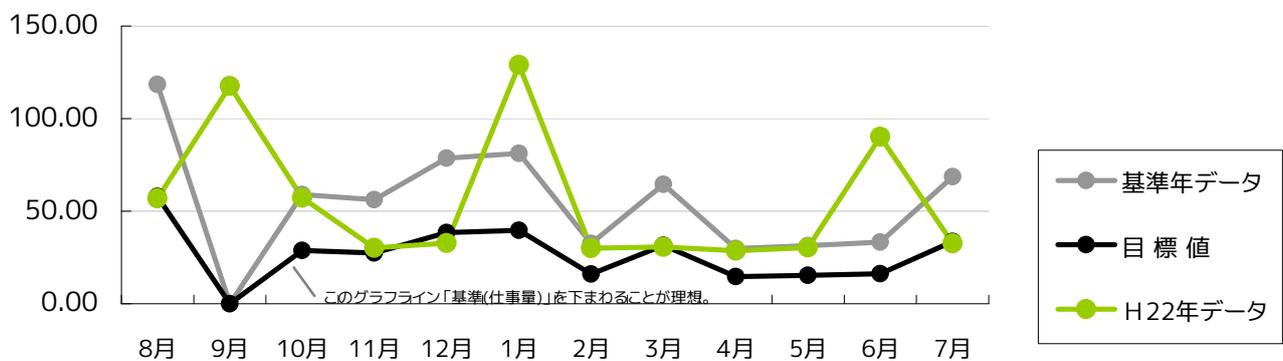
※化石燃料使用量は仕事量だけではなく、燃費でも比べます。

昨年(平成21年)から走行距離を調べました。基準年(平成20年)の走行距離データは収集していなかったため、燃費の基準は平成21年度のデータとします。

使用量データ（単位:L）

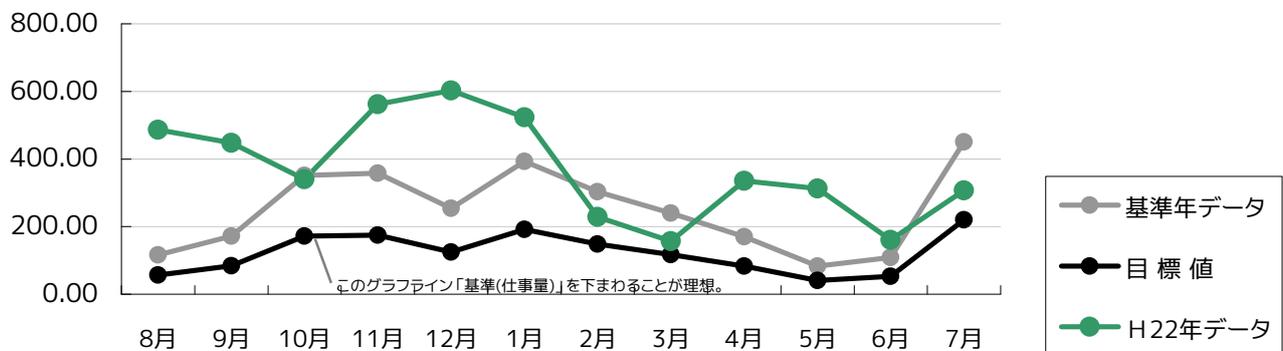
ガソリン

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
基準年データ	118.44	0.00	58.91	56.15	78.54	81.22	32.67	64.45	29.85	31.44	33.31	68.61	653.59
目標値	57.92	0.00	28.81	27.46	38.41	39.72	15.98	31.52	14.60	15.37	16.29	33.55	319.63
H22年データ	56.92	117.67	57.16	30.23	32.74	128.95	30.03	30.73	28.61	30.39	90.14	32.65	666.22



軽油

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
基準年データ	116.11	172.20	351.30	357.87	254.47	392.49	302.75	239.51	169.84	82.78	108.29	450.21	2,997.82
目標値	56.78	84.21	171.79	175.00	124.44	191.93	148.04	117.12	83.05	40.48	52.95	220.15	1,465.94
H22年データ	486.23	447.75	340.30	561.60	602.77	523.04	228.25	156.89	335.00	312.50	160.90	306.51	4,461.74



燃費データ (単位:Km/L)

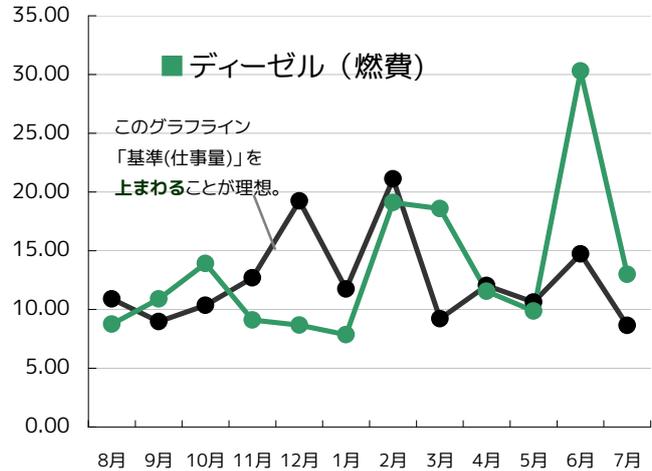
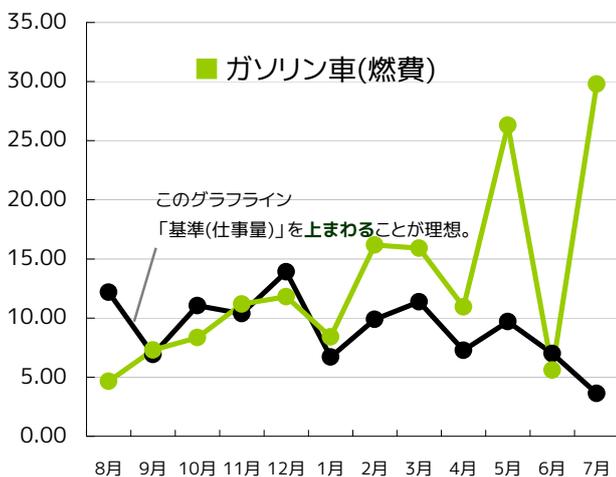
燃費の基準は平成21年度のデータとします。

ガソリン車

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年間平均
基準年データ	12.17	6.91	11.05	10.38	13.90	6.70	9.88	11.37	7.27	9.70	7.00	3.62	9.16
目標値	目標値は燃費のみ基準年データを上まわることとします。												
H22年データ	4.66	7.28	8.34	11.18	11.79	8.39	16.18	15.91	10.94	26.29	5.60	29.80	13.03

ディーゼル車

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年間平均
基準年データ	10.90	8.95	10.36	12.68	19.23	11.74	21.12	9.22	12.03	10.61	14.74	8.64	12.52
目標値	目標値は燃費のみ基準年データを上まわることとします。												
H22年データ	8.74	10.89	13.90	9.10	8.68	7.86	19.09	18.60	11.55	9.85	30.30	12.99	13.46



● 基準年データ ● H22年データ

● 基準年データ ● H22年データ

昨年度、ガソリン・軽油使用量は仕事量も関係あるが、工事の現場所在地によって走行距離が違うことから仕事量だけでは判別しにくいという問題が挙げられた。

そのため、走行距離のデータをとることも重要になる。平成20年の走行距離データは記録していなかった為、昨年度(平成21年)のデータを基準とし、今年度からは『燃費』でも比べることとする。

ガソリン・軽油使用量は、『量』のみで比べると増加している。量が増えてしまったことは購入電力やコピー用紙使用量と同じく、小型工事物件数の増加が原因である。各工事現場までの距離等も関係しているので今年度、量は増えてしまったものの燃費は良い結果を出すことができた。

夏場の冷房・冬場の暖房が燃費の一番ポイントとなるので今後も温度管理は徹底して行きたいと思う。そのほかにもドライバーには「ふんわりアクセル」を意識してもらい引き続き徹底し、エコドライブを充実させていきたい。今後燃費を中心にさらに良いものにしていきたいと思う。

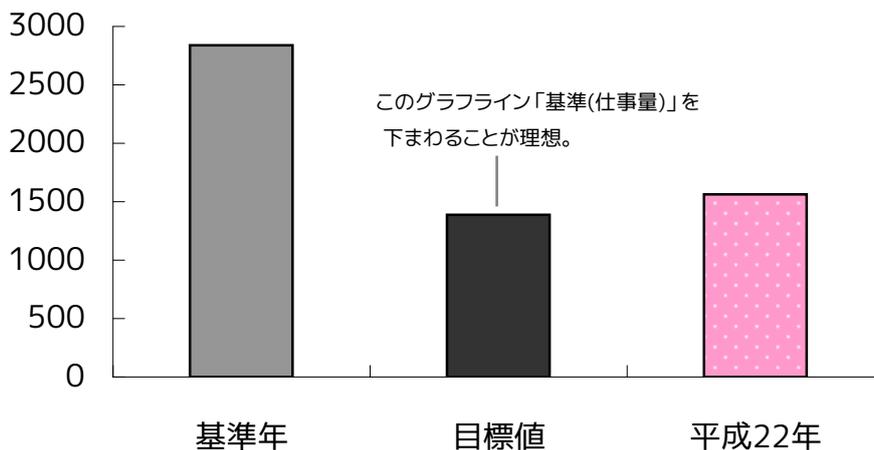
有害化学物質（単位: kg）

※下記表は弊社で使用する塗料に含まれる『有害化学物質』です。

有害化学物質名	①	エチルベンゼン	⑥	トルエン
	②	キシレン	⑦	ビスフェノールA型 エポキシ樹脂(固形)
	③	シアナミド鉛	⑧	鉛
	④	亜酸化鉛	⑨	コバルト
	⑤	トリメチルベンゼン	⑩	バリウム

下記データは有害化学物質ごとの年間合計を表わしています。

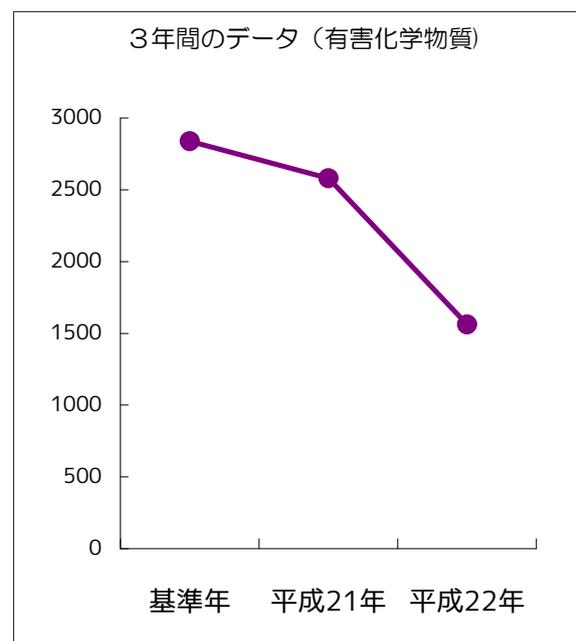
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	合計
基準年データ	51.63	218.01	1,249.80	65.00	32.25	123.29	0.00	1,096.05	1.92	0.00	2,837.95
目標値	25.25	106.61	611.15	31.79	15.77	60.29	0.00	535.97	0.94	0.00	1,387.76
平成22年度データ	66.37	233.93	467.40	28.00	23.68	156.51	91.66	390.77	3.04	100.26	1,561.62



※ 弊社で言う有害化学物質は、
鉄骨塗装にて使用する塗料材に
含まれるものです。

有害化学物質量は基準年と比べるとかなり削減でき、3年間のデータでも比較すると減少傾向である。しかし目標値を達成することができなかった。

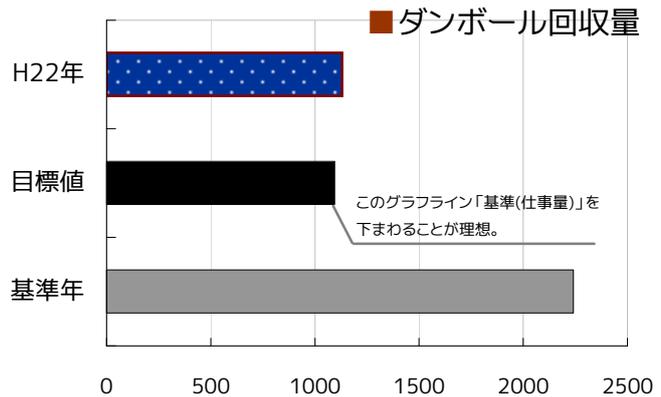
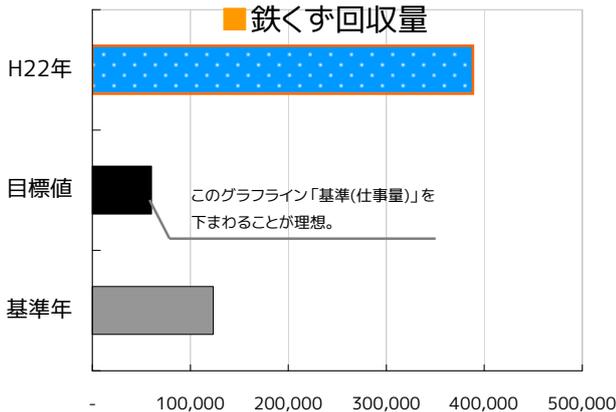
引き続き塗料の取り扱いや保管に注意し、来年度は目標値を達成できるよう、お客様に対してエコ塗料を提唱していきたいと思う。



鉄くず・ダンボール回収量（単位:kg）

★鉄くず・ダンボール回収は年間合計にてデータを比較します。

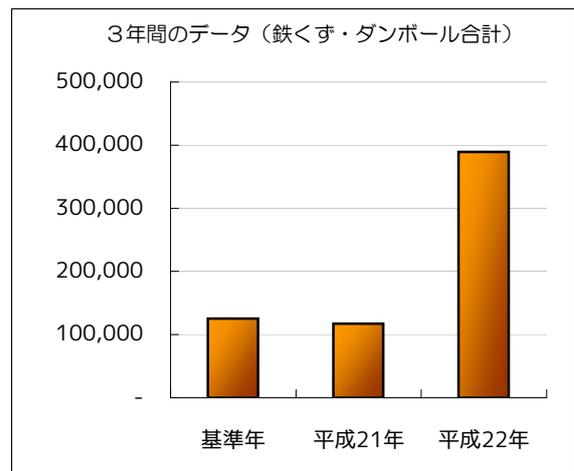
	年 間		合計
	鉄くず回収量	ダンボール回収量	
基準年データ	123,300.0	2,240.0	125,540.0
目 標 値	60,293.7	1,095.4	61,389.1
H22年データ	388,390	1,130.0	389,520.0



今年度は仕事の作業効率を上げるため工場内の整理・在庫見直しを行い、長期間使用しなかった在庫鋼材を全て業者に回収してもらった。

このため、鉄くずが極端に多く回収されている。鉄骨鋼材の無駄のある切断や、失敗等が無いよう、作業を計画的に行うことが大切になる。

ダンボールに関しては、基準年と比べると大幅に削減することができ、目標値に近づけることができたので良かったが、目標値を下まわることができるよう、努力が必要である。



★3年間データ 主な増加要因は鉄くずにある。

グリーン購入

グリーン購入であるが、真っ先にコピー紙が上げられる。

これには古紙配合率とか、白色度が色々あり、又値段も高かったりするので弊社に合った紙を購入している。文房具などもなるべく再生品があるものは再生品を購入している。電気製品は、買い替え時にきた物はエコ対策されている商品を購入するよう努力している。（例、電球・エアコン等）

買い替え時に来ていた自動車があり、今回は燃費の良い軽自動車を購入する事にした。



その他

その他に、数字には出てこないが弊社で集められたペットボトルや廃プラマーク付きの包装材、ボトルキャップ、シュレッターごみ等は月に1回程度の頻度で回収業者に持ち込んでいる。



■活動報告

今年度は社員全員で環境活動を行う時間を多く取れました。このような活動により、社員の環境に対する関心が高まりました。

社員一人ひとりが協力し、活動を行う機会をこれからも多く作りたいと思います。

今年度の主な活動は・・・

【会社敷地と周辺のごみ拾い・防災訓練・グラインダー砥石使用の見直し】です。

★ 会社敷地と周辺のごみ拾い

ただ単にごみを拾い集めるだけではなく、ごみが多く散らかっている場所や、その散らかってしまうゴミを捨てる指定の処分箱、処分箱の配置場所とその処分箱の分類など細かく周知徹底しました。

この日のうちに、鋼材や機械・道具の整理整頓も行いました。これにより、作業しやすい環境が整いました。



★ 防災訓練（放水訓練）

防災訓練（放水訓練）を行いました。

まず、貯水タンクの位置を把握しました。この貯水タンクは中の水が少なくなると自動で増える仕組みになっており、緊急事態の時いつでも放水ができるようになっています。

ポンプの使い方やホースの設置・放水の仕方を作業員全員で学び、実際に放水を行いました。



貯水タンク↓ この中の水を使用します。



ポンプの使い方を覚えています↓



放水の様子

★ グライNDER砥石使用の見直し

グラインダーで使用する砥石、まだ使えるものも処分してしまっていたので、一度処分箱に入れてしまったものを全て取り出し、まだ使えるものと、もう使えないものとのに分別しました。

分別に関する掲示物↓

捨てる前に注意！	
砥石	捨て場所の区別をしっかりと！
<p>使える 180φ ↓ 125φ 使える！ ↓ 100φ以下 処分 ⑰のドラム缶へ</p>	<p>③の ストックヤード南側の箱は、鉄のみ 捨ててください！</p> <p>☆燃えるゴミは ①のポリバケツへ</p> <p>☆ゴムやコードは ②のキャラバンの箱へ</p>
	<p>5 溶接カス (溶接棒使用済みカス)</p> <p>6 塵粉・土混合物 区別に注意！ 間違えないように捨ててください。</p> <p>溶接カス 塵粉・土混合物 (溶接棒使用済みカス)</p> <p>↓ それぞれ専用のドラムへ ↓</p>



掲示物を作成しましたが、実際に現状を見てもらい、全員で作業することで、『もったいない』という意識を高めました。

分別作業の様子↓



処分箱から取り出してみると、まだ使える砥石がたくさんありました。

■環境関連法規への違反、訴訟の有無

★対象法規リストと遵守状況

遵守評価日：H23年 09月 01日

法の名称	該当する要求事項	該当整備・項目	届出・報告先	遵守評価	
				評価項目	結果
建設業法	工事業者登録と更新	鉄骨建築	静岡県	許可期限	○
建築基準法	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準の遵守 ・建築工事業の許可 ・鉄骨工場認定 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計・施工 ・工事業 ・工場 	静岡県 国土交通省	許可期限	○
				許可期限	○
				認定期限	○
廃棄物処理法	《一般廃棄物》 ・一般廃棄物収集業者許可確認	・紙くず、 木くず、 その他	なし	許可業者	○
	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託業者との契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 60 c m×60 c m以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 ・マニフェストの集計・報告	・廃油、 汚泥、 廃プラ	・マニフェスト期限 内返却ない場合 …知事へ報告 ・前年度交付状況 …知事へ報告	契約書・許可書	○
				マニフェスト管理	○
				報告書	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届け出 ・規制基準の厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー ・油圧機 ・切断機 	焼津市役所	新設・変更	○
				基準の遵守	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届け出 ・規制基準の厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー ・油圧機 ・切断機 	焼津市役所	新設・変更	○
				基準の遵守	○
浄化槽法	・浄化槽の設置・変更の届け出	分離方式 バッキ方式20人	新設・変更の 場合知事へ届 出	新設・変更	○
	・法定点検の実施			点検 1回/3ヶ月	○
消防法	・指定可燃物の届け出 (指定数量の1/5以上)	・塗料 2000 k g	焼津消防署	新規・変更	○
高圧ガス保安法	<ul style="list-style-type: none"> ・アセチレンガス 0.2メガパスカル以上 ・酸素ガス 1メガパスカル以上 ・液化炭酸ガス 	アセチレンガス、 酸素ガス、 炭酸ガス	知事へ届け出	許可期限	○
				保安基準	○
建設リサイクル法	・建設副産物 鉄、コンクリート、他	対象建設(解体) 工事	知事報告	マニフェスト管理	○

★関係機関への法令違反及び訴訟等の有無

過去3年間、当事業所における業務上関係のある法令及び条例違反、地域住民等利害関係者からの訴訟及び苦情はありません。

■ 地震・火災等による

緊急事対応マニュアル

承認	審査	作成

1. 適用範囲	鉄工場敷地内（工場、事務所、資材置き場 他）
2. 目的	予防処置、発生事の処置を定め汚染防止の拡大を防止する。
3. 予防措置	<p>①工場内及び作業中は“禁煙”とする。（歩きながらの喫煙も厳禁）</p> <p>②指定場所には消火器を設置し法定点検を厳守する。</p> <p>③工場内等で火気を使用する場合は廻りを片付け、燃えやすい物がないか安全を確かめてから実施する事。</p> <p>④重量物を保管する場合はあまり高く積み上げない事。やむを得ず積み上げるときは荷崩れしないような対策を講じて置く事。</p> <p>⑤5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底</p>
4. 緊急時 (地震・火災)の対応	<p>地震、火災等が発生した場合、人命を第一に行動すること。</p> <p>①緊急時、人が倒れていた場合は安全な場所まで移動させる。</p> <p>②意識の有無を確認。無かった場合は、声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて反応を確認（体をゆすったり、動かしたりしない）。</p> <p>③大声で廻りの人に応援要請する。そして消防に通報、気道の確保、人工呼吸を行う。</p> <p>④外出血、特に大出血を認めた場合は、ただちに止血の処置を行う。</p> <p>《火災の場合》</p> <p>①火災等の緊急事態が発生したら大声で廻りの人に通報。 構内放送で応援要請する。その後、直ちに消火器等を使い一時処置を実施。</p> <p>②応援要請を受けた者は直ちに消火活動にあたる。</p> <p>③対応不可能と判断した場合は直ちに消防へ連絡し、消火活動を続行する。 危険と判断したら即座に避難を開始。</p> <p>④防火管理者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p> <p>《地震の場合》 (目安として震度5以上)</p> <p>①激震等の緊急事態が発生したら安全な場所への一次避難の実施。</p> <p>②地震が収まったら主電源を切ること。2次避難の実施</p> <p>③安全なことを確認の後保管品の状況確認</p> <p>④保管品の飛散状態を確認し、液体物での漏れ等で水質、土壌汚染等が考えられる場合は、大声で廻りの人に応援要請する。</p> <p>⑤液体物での漏れ等が確認されれば、直ちにウエス等で周囲を囲い、流失拡大の防止に努める。</p> <p>⑥環境管理責任者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p> <p>⑦津波警報が発令された場合は、大事なものだけを持ち4階現寸場へ全員避難する。</p>
5. 緊急連絡網	緊急時の緊急連絡網は別紙

■ 代表者による環境活動の評価と見直し

★ 総 評

弊社は地球環境に負担をかけないライフスタイルを広め、持続可能な循環型社会の構築を目指すように、Reduce(ゴミ削減)・Reuse(再利用)・Recycle(再資源化)という環境活動の3Rを推進することを目的にエコアクション21を取り入れました。この2年間はその第一歩として基礎である「ごみ分別を徹底する」という活動を中心に行ってきました。今年度は社員全員で環境活動を行う機会を多く作れました。呼びかけやポスター等の掲示だけでは伝わりにくい内容も社員に周知することができました。今後も今年度のように、実際に全員で環境活動について見直す時間を定期的に作り、現状把握することが重要だと思いました。

今後は他の項目に関しても活動をより良いものにし、数値でも良い結果が出せるよう努力していきたいと思います。

★ 見直しと来年度の課題

今年度新たに加えた『基準年の鉄骨鋼材仕入量と本年度の鉄骨鋼材仕入量の割合を均等にした数値』である『目標値』でデータ比較すると、全ての項目が削減できていなかった。購入電力や化石燃料使用量等、仕事量が減少していても様々な理由により削減しにくい項目もありましたが、目標を高く持つために、今後も取り入れていきたいと思いました。来年度も今年度と同じく、基準年データと直接比較する方法・仕事量を均等した数値で比較する方法・過去統計データで比較する方法の3種類の比較方法を用いていきたいと思います。

また、今回新たな問題として、基準年の見直しが挙げられました。

現在基準年としている平成20年度は、小型工事の大半を外注にお願いしていました。しかし、近年の社会状況の変化に伴い最近では外注依頼が減少し、弊社での生産量が増加しています。このことから比較対照するには無理があるので基準年を変更するべきではないのかという問題が挙げられ、変更の検討をしています。

来年度の課題として、基準年の見直しと目標値に近づけることが挙げられます。今年度はなかなか目標値に近づくこともできなかったので、来年度は基準年が変わったとしても今年度と同様の比較方法にて目標値に近づけられるよう努力し、活動を行ってきたいと思います。



ご一読頂き、ありがとうございました。

株式会社柏原鐵工所
2011年12月作成